⑬長良川プロムナード再整備事業

受賞機関　岐阜市

キーワード　遊歩道整備、景観形成、交通安全、ライジングボラード

全建賞審査委員会の評価ポイント

岐阜市の中心部を流れる長良川右岸の全長約650mの遊歩道で、市民や来訪者がより安全で快適に散策できる空間や、良好な景観の形成に配慮した道路づくりを目指し再整備を実施した事業。

利用者の視点や河川計画等との整合を図り整備を行ったことに加え、道路の交通安全対策の一つとして進めているライジングボラードを全国で２番目に採用する等、事業の垣根を越えて工夫を行った点が評価される。

1. はじめに

「長良川プロムナード」は長良川鵜飼が行われる清流長良川の右岸に位置し、正面には雄大な金華山を望む、河畔の遊歩道（自転車・歩行者専用道路、許可車両のみ通行可）である。

この事業は、長良川プロムナードにおける利用者の安全性をさらに高めるとともに、観光客や市民など多くの来訪者に、岐阜市の美しい景観を楽しんでいただける空間づくりを目指し、再整備を行ったものである。

川辺で夕涼み

良好な景観でのマラソン大会

2. 事業の概要

１）美しい景観形成

この一帯が国から重要文化的景観の指定や日本遺産に認定されるなど、大変魅力が高まってきたところであり、文化庁や岐阜市長良川流域の文化的景観検討委員会などと十分調整を図ったうえで道路の意匠を決定した。具体的には、歩行空間に長良川の清流と調和した重厚感のある石張舗装を採用し、車道空間には、昔ながらの土舗装をイメージした地道風舗装を施工した。街路灯やスツールには、長良川の鵜をイメージしたデザインを採用した。

２）観光地の魅力創出

金華山、長良川など風光明媚な環境を実感できる散策空間を整備し、川辺に座ることができる木製デッキを連続的に設置することにより、夕涼みや鵜飼鑑賞を楽しめる空間を創出した。

３）イベント活用による活性化

車道と歩道の段差をなくすことにより、毎年開催される高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソンなど、市民マラソンやジョギングランナーが走りやすい環境を整備した。

４）安全性の向上

石張舗装により、歩行者と車両の通行区分を明確にするとともに、車道にスラロームを導入し、また、通行幅を従前の半分程度にすることにより、ドライバーが視覚的にスピードを出さない環境を整備した。

なお、平成27年３月に、通り抜け車両を物理的に遮断し歩行者が歩きやすい空間を創出するため、長良川プロムナードの入口に、全国２例目となるライジングボラードを設置した。

3. おわりに

美しい景観の形成と安全性を向上した道路整備を行うことで、市民や来訪者がより快適に散策ができ、くつろげる空間とすることができた。特に、鵜飼開催時には、多くの来訪者が木製デッキに腰掛け、鵜飼見物する姿を見受けられるようになった。

今回の長良川プロムナードの再整備が、岐阜の魅力を高め、活力あるまちづくりに貢献できるとともに、末永く地域の皆様に愛されることを祈念する。

賛助会員　㈱市川工務店、大日コンサルタント㈱